令和6年度第1回 旧西尾家住宅修理専門会議 発言要旨

1 日時

令和6年7月10日（水）午後1時30分から午後4時まで

2 場所

吹田市立内本町コミュニティセンター

3 出席者（敬称略）

【委員】足立、日向、藤田、前川、瀧野

【文化庁】文化資源活用課 石田

【大阪府】文化財保護課 神谷、萩原

【工事監理者】建築研究協会 伊藤、野々部、辻、宅間

【工事施工者】中島工務店 鳴海、川里

【吹田市】文化財保護課 葉山、田中、立岡、猪股

4 議題

重文 旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）について

- （1）保存の方針に関する意見聴取の結果について
- （2）工事等進捗状況報告
- （3）I期工事の完成形について

5 主な発言要旨

○活用のエリア分けについて

- ・現在仮設便所のある場所のすぐ隣には温室があり、12代目が様々な研究や作業を行ったと思われる場所であり、大事にしてほしいところだ。
- ・温室についてはあの状態で置いておくと風雨にさらされていずれ崩壊していただけなので、どうするかを今後考える必要がある。

○主屋台所、事務室（女部屋、納屋米蔵北）の整備について

- ・台所キッチン実用の方を重んじて現代のキッチンセットを入れるということであるが、モダンキッチンとして整備したいところだ。
- ・台所は旧開閉器盤や武田五一が関与しているといわれる調理台・食器台があり、それからここは唯一天井が吹き抜けになっていて梁組が見えるところである。そういった旧西尾家住宅の見どころと、新しい流し台が一体であるというのはどうかと思う。
- ・「管理エリア」「公開エリア」と分けてしまわずに、見どころの一つである台所で仕事をしておられる方がいて、そこに来館者が訪ねて来るといってもいいのではないか。
- ・管理業務の内容というのはどんなものなのか、またボランティアと管理者がどういう過ごし方をするのか。ヒアリングをするなどして、もうちょっと前提を考えた方がいいのでは。そうでないと検討が難しい。

○主屋物置（旧浴室）の整備について

- ・調査結果をもとに、積極的な整備をやらないといけないところはやるべきだ。
- ・ここまではわかる、ここはわからないから整備したというのは、どの現場でもあること。
- ・整備するならこういうふうな内容でどうかという提案をしてほしい。
- ・保存というのはある場面では積極的にやらないといけない。そうでないと生き生きとした保存にならない。